



長谷川重辰氏の絵

第360回例会 1965.7.12 (火) 晴

例会場 鶴岡市本町二丁目 ひさごや (2) 0707・2838番
 事務所 鶴岡市馬場町十日町口 商工会議所内 (2) 5775番

どこで、あっても手を振りあおうよ

出席報告

本日の出席 会員数 59名
 出席数 45名
 出席率 76.27%
 前回の出席 前回出席率 84.75%
 修正出席数 54名
 確定出席率 91.53%
 欠席者 長谷川君、五十嵐(三)君、金井君、齋藤(信)君、皆川君、齋藤(得)君、菅原君、谷口君、津田君、高橋君、林君、佐藤(寅)君、荒明君、森田君

スークラッパ 安藤君 (山形R.C.)
 五十嵐(三)君、三井(徹)君、三浦君
 (鶴岡西R.C.)

司会 前会長 張 紹淵君

ソング 我等の生業 リーダー 三井(健)君

ヒジター 原田行雄 鶴岡西R.C.

卓話

ソ連沿岸貿易見本市視察団に参加して

鶴岡魚類K・K
 社長 五十嵐 八郎氏

今般シベリヤのハバロフスクで沿岸貿易見本市が開催

されたその発端はソ連が隣りの国である関係とシベリヤ開発という問題で日本との貿易を重視し、話が進められたのだそうです。

私共が始めて聞いたのは、昨年12月下旬に伊藤忠商事並びに進展実業という商社が中に入って、県の商工課、水産課に呼びかけがあり、本年3月7日に県の指導で関係業者が集まり協同組合を設立したわけです。ソ連から木材、鯨を輸入、本県から米沢織物、山辺メリヤス、打双物(山の下狩り用鎌)果物・缶詰を輸出、バーター貿易を立前に輸出1億輸入5千万を目標に発足した次第でございます。

たまたま去る6月26日からハバロフスクで見本市が開かれたので本県から荒木商工労働部長と県議二名酒田市議2名、その他業者を含めて15名、私共はAグループで極東シベリヤ地方に約2週間行って参りました。

昨年は見本市開催により富山県では鉱石、石炭、木材等12億の輸入、岩手県も7億の輸入、その見返りにゴムカップ、ロープ等の漁業資材を輸出したそうです。今回本県より見本市に出品したものは先程申し上げた他に酒田のエコー家具の打畳椅子と、よしみ屋の漁業資材、天童木工の製品等出品されたわけです。

私共は6月24日出発前日に新潟で結団式を挙行、多数の報道関係者に見送られ翌25日ソ連船トルコミヤ号(5千5百トン)に乗船しナホトカに向かいました。

ナホトカ迄は約26時間で日ソ間では最も近い距離でもあるし、将来は定期船という話題もあるそうです。ナホトカに着いたのは翌27日午後2時頃で、その後税関の手続等で上陸は午後5時頃になりました。ナホトカ港では市長の歓迎の挨拶や花束の贈呈等多くの方の歓迎を受けました。ナホトカ市長は太ったタイプの女性で、あとで

聞いた話では一人息子を持つ戦争未亡人とのことでした。

ナホトカは人口11万、10数年前迄は日本人引揚の基地でさびしい港に過ぎなかったそうです。現在はクレーン30数基を持つ立派な港町です。それから一行は日本人墓地に向かいました。ナホトカの墓地は小高い丘にあり一人の墓守が541柱の戦病死者を守って居りました。掃除も行きとどいてました。千田岩手県知事代表の弔辞があり一同参拝致しました。

それから午後7時頃ナホトカ市街に入りましたが、一行280数名という戦後最高の人数とあって多くのナホトカ市民の歓迎を受けました。汽車は午後8時半出発、翌日午後0時半頃目的のハバロフスクに着きました。人口40万7千の広大な町で道路も広く、建物は殆んど5階で1階は商店、2階以上は住宅のようでした。家賃は収入の約6%程度だそうです。

通訳は約40名程来ましたが私の方には歯医者とピアノの女の先生でした。その日の晩にハバロフスクの飛行場で北村徳太郎氏やモスクワの中川大使も見え、市民約百名を招待しパーティーを開きました。

翌27日、日本市の開幕式があり、ソ連の商工会議所会頭始め知事市長級の列席があり北村徳太郎氏、吉田団長（富山県知事）の挨拶や三木通産大臣のメッセージの後会場のテープが切られました。

会場には日本の一流メーカーの製品がずらり並び日本海沿岸各県の物産も写真等をそえ出品されました。鶴岡では広田製作所の荷締機や今間製作所の農機具、御殿まりのパンフレットもそえてありました。尚一流商社が自由諸国に遠慮することなく出品されていることには驚きました。

鉄道大学で開かれた代表者会議の結論としてソ連はメリヤス製品、トランジスター、漁網、合織、りんご、みかん、フローリング、ベニヤ、製材機械、日用雑貨の輸入を希望しているようでした。私共は木材を輸入し家具類の輸出を考えたのですが期待はずれでした。私の思いつきで将来庄内柿の輸出を考え、うちのマークに庄内柿を印刷した手拭を多少配布して参りました。

翌日は飛行機でブラーチク（人口11万）に行き世界一の発電所を見学しました。ここは1,800種という多くの動植物の棲息するバイカル湖（琵琶湖の5倍）に連なる336河川の内、唯一つ流を持つアンガラ川にある出力450万キロワットの発電所です。

ブラーチクは気温の差が甚だしく夏は38度、冬は零下58度もあり石も割れる寒さだそうです。森林を切り開いた新しい街です。

帰りは飛行機が霧のため12時間も遅れて出発し、ハバロフスクに到着それからナホトカまで汽車を走らせ、ナホトカからバイガル号に乗船、7月5日午後4時日本に帰って参りました。

ソ連は暗い国と聞いてましたが意外と明るく朗らかな国民のようでした。所得は発電所の技師長で月給16万円、一般技師6万8千円（いずれも日本の金額）で2年に1回36日の休暇があるそうです。ただし物価は予想以上に高く、ワイシャツ8千円、肌着2千円、革靴1万2千円、りんごは日本の10倍、キャベツ3百円というような実情でした。

見本市を開催したからといって簡単に取引は決まらなと思います。とにかくこの見本市を見た多くの人々は日本製品について驚嘆したことは事実のようです。

連絡事項 前会長

○7月13日福島に於いて地区協議会の開催につき現会長幹事、会報委員長、ロータリー情報委員長、職業分類委員長出席の為私が司会をやらせてもらいます。

○加盟承認の御挨拶

白鷹ロータリークラブ

津南ロータリークラブ

多治見西ロータリークラブ

○チャーター伝達式

松永ロータリークラブ

日時 昭和41年10月2日（日）12.00～18.00

場所 広島県福山市佐渡町

福山電波工業高等学校講堂

登録料 1名様 3,000円

○例会場時間変更

山形ロータリークラブ

寒河江ロータリークラブ

○会報到着

鹿児島西ロータリークラブ

八戸ロータリークラブ

岩見沢ロータリークラブ

東京ロータリークラブ

スマイル

今間君、海東君 東北商工会議所総会に表彰された

八丁目君 NHK開設記念

鈴木君 家族の不幸に際し香奠返し

献立

さしみ（大魚・赤えび）

丼（筋子・おろし）

味噌汁（粕仕立茄子）